

第 96 回 理 事 会 議 事 次 第

日本商品先物振興協会

日 時 平成 25 年 1 月 22 日（火） 正午

場 所 日本商品委託者保護基金 会議室

議 案

第 1 号議案 平成 25 年度における取組課題（案）について

そ の 他（報告事項）

以 上

平成25年度における取組課題（案）

1. 会員の営業活性化に向けた取組

（1）積極的営業の支援

- ① 平成24年12月の規制の見直し（省令の改正及び関心を示した顧客へのアプローチのあり方に関するQ&Aの提示）を受けての各社の対応方針、営業スタイル・社内規則等の変化の検証 *24年度中に着手
- ② 営業スタイル等に変化が見られない場合、その要因の調査・分析
- ③ 更なる改善の方向の検討

（2）銘柄別取引ガイド（パンフレット）等の制作

金（平成24年度中に制作予定）に引き続き、以下の銘柄の取引ガイド及びチャートを順次、制作し、会員に実費頒布する。

➢白金、原油、ガソリン、灯油、ゴム、とうもろこし、大豆

（3）外務員向けセミナーの開催

主要銘柄の価格変動要因等について、取引所と連携して外務員向けのセミナーを実施する。

2. 商品先物市場の流動性拡大に向けた取組

（1）市場流動性の拡大に資する改善策の検討

純資産額規制比率におけるコモディティ・リスクの軽減策のほか、政省令に係るもの以外での改善策を検討し、効果が見込めるものについて実現に取り組む。

（2）取引所の統合等に係る検討

東京商品取引所（東工取）の商品市場のあり方（他の取引所との統合等）について、流動性拡大の観点から検討し、必要に応じ提言を行う。

3. 望ましい税制への取組

個人投資家がリスク資産に投資しやすい環境を整備するため、金融所得課税の一体化を始めとした、簡素で、金融商品間で中立・公平な税制の実現に取り組む。

*25年1月下旬に取りまとめが行われる予定の「平成25年度税制改正大綱」においてデリバティブ取引による損益と上場株式の譲渡損益との通算等を可能とす

る税制の実現が見送られた場合には、引続き要望する。

4. 商品先物取引の認知度向上への取組（24年度から継続）

- （1）「みんなのコモディティ」の共同運営
- （2）投資クラブ等を対象とした講師派遣
- （3）大学における寄付講座の開講（青山学院大学、25年度から明治学院大学を追加）

5. その他

協会ホームページ等を活用して、商品先物取引に係る知識、及び協会における取組、会議資料等を掲載し、広く投資家・会員等に対し適時に情報を発信する。

以 上

主要商品別パンフレット等の制作について（案）

顧客への説明用資料、セミナー等を通じた営業用資料として主要商品を説明するパンフレット及び罫線（長期波動）を作成し、会員に対し頒布する。東工取振興協会（平成22年解散）が作成していたものをベースとし、会員各社で共用することで制作単価を下げる。

1. コンテンツ案（例＝金先物）と体裁

パンフ：A4判、8頁、カラー

- | | |
|----------------|----------------|
| ① 金先物取引7つのQ&A | ⑤ 金の取引実例（損益計算） |
| ② 金先物取引の魅力と特徴 | ⑥ 差損益早見表 |
| ③ 金の価格変動要因（概説） | ⑦ 輸入採算早見表 |
| ④ 目で見てわかる需給 | ⑧ 口座開設から取引の流れ |

罫線：A4判、ジャバラ折8頁、表紙カラー、中面2色

- | | |
|--------------|--------------|
| ① NY金期近限月間高低 | ④ 東京金先限週間足 |
| ② 東京金先限月間高低 | ⑤ 円相場直物月間足 |
| ③ NY金期近限週末値 | ⑥ 日本と米国の金利推移 |

*オプションで裏表紙に社名等名入れ（別途2万円）

2. 対象商品と頒布スケジュール

第1回 2月26日 = 金、白金

第2回 3月下旬 = トウモロコシ、大豆

第3回 4月下旬 = 原油、ガソリン

第4回 5月下旬 = 灯油、ゴム